

市道交差点改良計画の進捗は



城陽絆の会
大西 吉文

都市計画道路以上の幅を持たせた計画を考えている。交差点形状については設計の中で検討していきたい。

問 市道30001号線と同2389号線交差点は、今後幹線道路となることを見据え都市計画道路の12号の幅員基準に沿った改良が必要だが進捗状況は。よりよい道路改良をするため北側農地を買収し、直角交差点の形状にする考えは。

答 現在、現場に入り測量作業を実施しており、今後測量成果をもとに設計を行い、新名神開通に併せ計画的に業務を進めていく予定。2389号線には道路構造令に準拠して右折レーンを設置し、大型車の軌跡も考慮に入れた設計を行うが、

近年異常気象が続く中で、農業従事者は気候に左右される厳しい環境に置かれている。市の対策および災害被害への支援は、個別に農業者の声やニーズを聞いていくのと並行し、異常気象への対応として農作物の栽培管理技術や品種改良等の研究を進める必要があることから、今後も府やJAなど関係機関と連携・協力しつつ必要に応じて対策支援を行ってきたい。平成30年の台風被害の際にも国・府と連携し、パイプハウ

都市計画道路以上の幅を持たせた計画を考えている。交差点形状については設計の中で検討していきたい。

問 近年異常気象が続く中で、農業従事者は気候に左右される厳しい環境に置かれている。市の対策および災害被害への支援は、

個別に農業者の声やニーズを聞いていくのと並行し、異常気象への対応として農作物の栽培管理技術や品種改良等の研究を進める必要があることから、今後も府やJAなど関係機関と連携・協力しつつ必要に応じて対策支援を行ってきたい。平成30年の台風被害の際にも国・府と連携し、パイプハウ

旧支援を実施した。

下水道料金改定幅は縮小検討を



城陽絆の会
土居 一豊

新たな財源確保を指し職務に臨んでいる。下水道使用料の14・5%引き上げが検討されているが、コロナ禍を考慮して、

問 市の財政基盤強化を目的に進めた新市街地事業計画が完成し、税収増加も図られてきている。完了すれば一般会計収支は歳入が歳出を上回るとの説明だったが、いつになったら収支が均衡になるのか。財政硬直化からの脱却に向け、明確な数値目標を設定し努力すべき。

答 持続可能な財政基盤確立には東部丘陵地整備が必要で、完了により達成するものと考えられる。今はまちづくり投資する時期であり、数値ありきの目標は難しい面もある。効率的な事務執行に努

め新たな財源確保を指し職務に臨んでいる。下水道使用料の14・5%引き上げが検討されているが、コロナ禍を考慮して、

問 下水道使用料の14・5%引き上げが検討されているが、

一般会計から毎年5千万円、総額4億5千万円を貸し出して引き上げ幅を10%程度に縮小してはどうか。

経営審議会に提示している計画案は、資金不足を使用料に転嫁すると市民生活への影響が非常に大きいと判断し、一般財源からの繰入金を計画期間中3・8億円積み増す形としたもの。一般会計からの貸付けは独立採算の基本から外れる上、資金借入れによる利率抑制は将来への負担の先送りとなることから、なじまないものと考えられる。

認知症者の賠償保険加入支援を



公明党議員団
乾 秀子

認知症高齢者が徘徊中に意図せず事故・事件を起こし、賠償責任を問われるケースが出てきている。認知症高齢者と家族への支援拡充策として、

問 新型コロナに係る国の特別定額給付金は、令和2年4月28日以降の出生児は対象外となった。市では独自にしようようあかちゃん応援臨時給付金制度を設け、同年10月31日生まれまでの新生児へ10万円を給付することは大変評価するが、今後、3年4月1日生まれまで給付を実施する考えは。

答 市が独自に実施するコロナ禍における子育て世帯支援策は、他市町村と比べ手厚い内容のものもあり、全体として捉えても高いレベルにあると認識している。

認知症高齢者が徘徊中に意図せず事故・事件を起こし、賠償責任を問われるケースが出てきている。認知症高齢者と家族への支援拡充策として、

市の認知症高齢者等OSネットワークに登録かつ加入を希望する人を被保険者とし、

市が契約者となって保険料を負担する個人賠償責任保険加入制度を導入してはどうか。

今後、認知症高齢者の増加が確実に見込まれるため、本人支援と家族支援の両面から非常に重要な制度と考える。認知症施策充実には喫緊の課題であり、第8期市介護保険事業計画策定を進めているこのタイミングで実施に向け検討していく。